

特装車 メンテナンスニュース

架装物安全点検制度

No. 49 2020・2

架装物の安全点検制度実施について スペアタイヤ・ツールボックス点検!!

2018年10月1日から道路運送車両法に基づく『自動車点検基準』の一部を改正する省令により、車両総重量8トン以上のトラック・トレーラまたは乗車定員30名以上のバスに備えたスペアタイヤおよびツールボックスを新たに定期点検の対象に加え、3ヶ月毎の点検が義務付けられましたが『8トン未満』の車両に関しては一般社団法人日本自動車車体工業会（以下、車体工業会）『架装物の安全点検制度』に基づき点検を行うことになっております。

点検制度対象製品にて『8トン未満』の対象車両の架装物年次点検時には必ずスペアタイヤおよびツールボックスの点検を実施ねがいます。

※道路運送車両法（第47条の2）点検・（第48条）定期点検は使用者、運行する者に義務付けられています。（貨物自動車運送事業輸送安全規則：第13条 点検整備）

スペアタイヤ・ツールボックスの点検項目と実施方法

1. 【スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷】（フレームやボデーなど車外に、取り付けられている物）

■ スペアタイヤを取り外し、次の点検をいたしましょう

- ・スペアタイヤ取付装置の取付部に緩みがないかをスパナなどで点検します。また、損傷がないかを目視などで点検します。
- ・スペアタイヤ取付装置のガタ、錆び腐食がないか目視と手で揺するなどして点検します。
- ・スペアタイヤのディスク・ホイールについて、ボルト穴や飾り穴の周りおよび溶接部に亀裂・損傷などがいないか、またスペアタイヤ取付装置とディスク・ホイール合わせ面に摩耗や損傷がないかを目視などで点検します。

2. 【スペアタイヤ取付状態】

■ スペアタイヤを取り付ける際に、次の点検をいたしましょう

- ・スペアタイヤ取付装置のハンドルが円滑に回ること、および吊上げチェーンにねじれや引っ掛かりが無いことを確認し、規定トルクで締め付けます。
- ・スペアタイヤを取り付けた後、スペアタイヤに異常な傾きがないかを目視などにより点検します。またスペアタイヤの取付けに緩みがないかをスペアタイヤを強く押すなどして点検します。

3. 【ツールボックスの取付部の緩み、および腐食・損傷】

■ フレームやボデーなど、車外に取り付けられた工具箱や資材入れなどは、次の点検をいたしましょう

- ・ツールボックスの取付部に緩みがないかをスパナなどで点検します。
 - ・ツールボックスの取付部に亀裂・損傷がないか目視などで点検します。
 - ・ツールボックスや取付ステー等の錆び・腐食がないか目視などで点検します。
- ※ツールボックスに該当するかどうかお分かりにならない場合は、各メーカーへお問い合わせねがいます。
※参考事例として裏面のスペアタイヤ・対象ツールボックスをご確認ねがいます。

各メーカー指定のサービス工場にて年次点検を実施した車両には架装物年次点検[済]ステッカーを貼付いたします。



2020年 (黄色)



2021年 (水色)



2022年 (黄緑色)

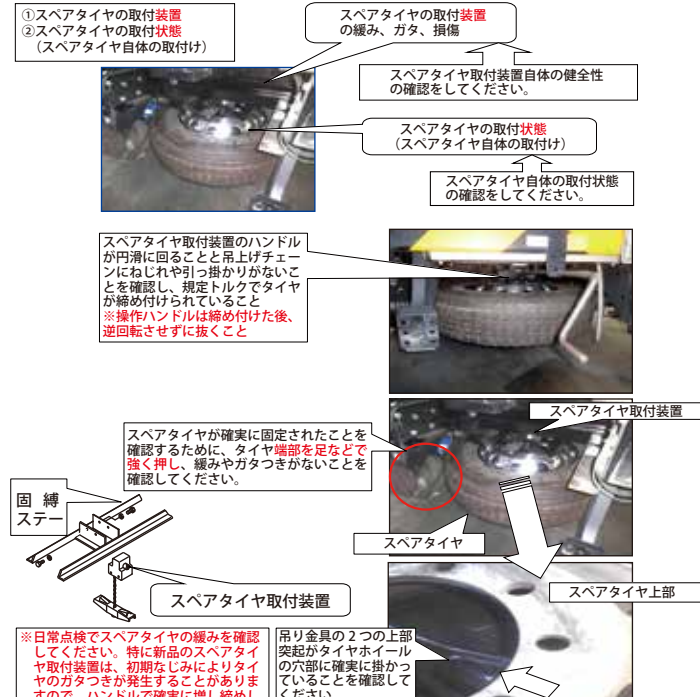
※本ステッカーは、架装物の安心・安全の指標としてご利用いただいております。なお、架装物の安全点検制度に必要なツールを準備し車体工業会に登録したメーカーおよび指定サービス工場にて点検実施時に貼付いたします。

※点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある各メーカー指定サービス工場でお受けいたします。

8ト 未満スペアタイヤ・ツールボックス(参考事例)



【スペアタイヤ取付装置】 ※スペアタイヤ取付装置には巻上げ式の他に格納タイプ・固定タイプなどがあります。

スペアタイヤ取付装置事例		構造・取付方法・使用目的など
①	 <p>巻上げ式 横斜め式</p>	【巻上げ式】及び【横斜め巻上げ式】 ・スペアタイヤ取付装置本体はシャシフレームとボルト止め ・タイヤホイールをチェーンにて吊上げ固定
②	 <p>キャブバック式</p>	【キャブバック式】 ・スペアタイヤ取付装置本体は架装物にボルト止め ・タイヤホイールはスペアタイヤ取付装置ハンガーをウイングナットなどで固定
③	 <p>キャブバック式</p>	
④	 <p>吊上げ式</p>	【吊上げ式】 ・スペアタイヤ取付装置本体はシャシフレームとボルト止め ・タイヤホイールをチェーンにて吊上げ固定
⑤	 <p>吊上げ式</p>	

点検箇所	スペアタイヤの取付装置 スペアタイヤの取付状態	点検時期	始業時・3ヶ月毎		
点検項目	緩み、ガタおよび損傷など	点検方法	目視・触手・スパナなど	点検種類	法定点検・メーカー推奨
確認部位 ①スペアタイヤの取付装置 ②スペアタイヤの取付状態 (スペアタイヤ自体の取付け)					
 <p>スペアタイヤの取付装置の緩み、ガタ、損傷</p> <p>スペアタイヤ取付装置自体の健全性の確認をしてください。</p> <p>スペアタイヤの取付状態(スペアタイヤ自体の取付け)</p> <p>スペアタイヤ自体の取付状態の確認をしてください。</p> <p>スペアタイヤ取付装置のハンドルが円滑に回ることと吊上げチェーンにねじれや引っ掛かりがないことを確認し、規定トルクでタイヤが締め付けられていること ※操作ハンドルは締め付けた後、逆回転させずに抜くこと</p> <p>スペアタイヤが確実に固定されたことを確認するために、タイヤ端部を足などで強く押し、緩みやガタつきがないことを確認してください。</p> <p>固縛ステー</p> <p>スペアタイヤ取付装置</p> <p>スペアタイヤ</p> <p>スペアタイヤ上部</p> <p>※日常点検でスペアタイヤの緩みを確認してください。特に新品のスペアタイヤ取付装置は、初期なじみによりタイヤのガタつきが発生することがありますので、ハンドルで確実に増し締めしてください。</p> <p>吊り金具の2つの上部突起がタイヤホイールの穴部に確実に掛かっていることを確認してください。</p>					

【ツールボックス】 ※ツールボックスについては、多種・多様な製品が存在いたしますのでご不明な点がございましたら各メーカーへお問い合わせがございます。

ツールボックス事例		構造・取付方法・使用目的など
①	 <p>標準型工具箱</p>	【標準型工具箱】 ・板状の箱(6面体)形状の物 ・シャシフレームにステーをボルト止め取付け
②	 <p>6面体工具箱</p>	【6面体工具箱】 ・板状の箱(6面体)形状の物 ・シャシフレームにステーをボルト止め取付け
③	 <p>エキスパンドメタル箱</p>	【エキスパンドメタル箱】 ・エキスパンドメタル板で上面はオープン ・シャシフレームおよび架装物フレーム側面にステーをボルト止め取付け ※主にりん木入れとして使用
④	 <p>エキスパンドメタル箱</p>	
⑤	 <p>パール缶受け</p>	【パール缶受け】 ・平板を床とし、パール缶がずれ落ちぬよう丸棒を円状に配置した専用受け ・フレーム側面へステーなどで固縛取付け

ツールボックス事例		構造・取付方法・使用目的など			
⑥	 <p>消火器格納ボックス</p>	【消火器格納ボックス】 ・形状は6面体で消火器入れとして使用 ・架装物フレーム下部側面にステーなどで固縛取付け			
⑦	 <p>サイド格納ボックス</p>	【サイド格納ボックス】 ・形状は6面体で上開き工具箱として使用 ・形状は6面体で横開きホースボックスとして使用 ・塩化ビニール製パイプ型ホース格納として使用 ・架装物フレームおよびタンク側面に取付け			
点検箇所	ツールボックスの取付	点検時期	始業時・3ヶ月毎		
点検項目	緩み、ガタ及び、損傷	点検方法	目視・触手・スパナなど	点検種類	法定点検・メーカー推奨
確認部位 ツールボックスの取付部					
 <p>ツールボックスの取付部(ステー含む)の固縛状態(緩みガタ、損傷、錆、腐食など)に異常が無いかスパナや目視などで確認してください。</p> <p>工具箱</p> <p>取付ステー</p> <p>固縛ボルト</p>					
【スペアタイヤ・ツールボックスの取付状態点検について】 スペアタイヤ・ツールボックスの取付状態の確認を行ってください。取付けに緩みなどがあると、スペアタイヤ・ツールボックス自体の破損や、脱落に至る重大事故に発展する可能性がありますので、特にツールボックスに該当するかお分りにならない場合は各メーカーへお問い合わせをお願いします。					